

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和3年6月22日（火）

9：25～10：10

場所：浜田市立松原小学校体育館

対象者：同校6年生 24名

指導者：○6年生担任 1名

○島根県古代文化センター 2名

1. 主題名

「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」

2. ねらい

- ・ 「奈良の大仏」の大きさを、パズル体験を通して知るとともに、込められた先人の思いについて考える。
- ・ 体験型歴史学習を通し、歴史や文化財に対する興味・関心を高める。

3. 本時の展開

学習活動	指導者の支援および留意点
9：25～9：35（10分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・ 小学校近くの発掘調査で見つかった物や遺跡の写真パネルなどを活かして話す。
9：35～10：05（30分） ②「奈良の大仏」の大きさを体験する ・ 1m四方のパネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。 ・ 大仏完成後、巨大さを体感できる写真を撮影。	・ 「奈良の大仏」の実物大パネルは、前の時間に体育館内に用意しておく。
10：05～10：10（5分） ③「奈良の大仏」の大きさや、浜田城跡の瓦など、本時に学習したことをふりかえり、まとめる。	・ 子どもたちの「気づき」を大切に、適宜感想などで応える。

4. 準備物など

- ・ 学校が用意）手袋、ペーパータオルないし雑巾（パネル取り扱い用）
- ・ 古代文化Cが用意）「奈良の大仏」実物大パネル、アルコール溶液
浜田城跡の発掘で見つかった瓦（数種類）、説明パネル